

令和2年度 事業報告書

令和2年 6月 1日から 令和3年 5月 31日まで

特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン

1 事業の成果

コロナ禍に翻弄された1年となり、ボルネオ緑の回廊をつくる事業では4区画の土地を正式に獲得できたもののマレーシアが厳戒態勢となり6ヶ月以上も活動が停止し、現在も再開されていない。野生動物の保護・保全を行う事業では現地スタッフだけで動くプロジェクトは継続したものの、ボルネオ渡航が不可能になったためオンラインで現地と日本を繋いでのワークショップや来年度以降の現地活動を見据えた国内での準備作業など限定的な活動になった。普及啓発活動事業ではイベントやブース出展は全て中止となったためオンライン配信でボルネオの環境問題についてのレクチャーや日本の動物園における生物多様性保全活動の紹介に活路を見出し、毎月1回の配信で延べ500人以上に参加いただいた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額(千円) |
|-------------------|--|----------------|-----------------------------|--------|-------------------------------|------------|
| ボルネオ緑の回廊をつくる事業 | 日本では現地での土地獲得を行うための資金調達活動、現地では提携NGOの協力を得て熱帯雨林を所有する現地住民から保全目的で私有地を購入する | 通年 | ボルネオ島サバ州キナバタンガン川下～中流域 | 6名 | 熱帯雨林の環境保護活動に関心の高いBCTJ会員(300人) | 22,546 |
| 野生動物の保護、保全を行う事業 | ボルネオゾウ保護施設で飼育されているゾウのエサ支援の継続およびスタッフ人件費の支援 | 通年 | ボルネオ島サバ州キナバタンガン川流域第8野生動物保護区 | 5名 | サバ州野生生物局および野生動物救助班(320人) | 3,000 |
| | キナバタンガン川におけるサイチョウ類の保全活動。現地で活動を続ける研究者と協力し、人口巣を設置することによる繁殖活動の促進を行った | 令和2年6月～令和3年5月 | ボルネオ島サバ州北東部キナバタンガン川下流域 | 4名 | 熱帯雨林の環境保護活動に関心の高いBCTJ会員(300人) | 1,400 |
| | コタキナバル市内の野生動物保護施設職員に日本の動物園における動物の飼育・管理方法のレクチャーをおこなった | 令和2年12月、令和3年1月 | 豊橋総合動植物公園およびロカウイ動物公園 | 2名 | | 376 |
| 生物多様性保全に関する普及啓発事業 | 日本でオンライン配信を実施。理事や識者、動物園関係者による自然環境保護・生物多様性保全活動における環境教育/啓発活動及び資料作成 | 通年 | 日本国内 | 12名 | 熱帯雨林の環境保護活動に関心の高い一般市民(不特定多数) | 137 |